

ふくしま創生総合戦略に係る令和3年度取組状況の効果検証について

1 趣旨

ふくしま創生総合戦略（以下「戦略」という。）に掲げた成果指標や施策の重要業績評価指標（KPI）、具体的な事業の取組状況を検証するとともに、外部機関（福島県地域創生・人口減少対策有識者会議）において意見をいただき、戦略における政策の効果を検証し、改善を行う（PDCA サイクル）。

2 有識者会議における効果検証

戦略の基本目標における基本施策ごとに検証を行う。

【資料 1 - 2】：「ふくしま創生総合戦略基本施策評価調書」

【資料 1 - 3】：令和3年度ふくしま創生総合戦略における成果目標・KPI 実績値一覧と対応の方向性」、

【資料 1 - 4】：令和3年度地方創生関連事業実績一覧（個別事業ごとの評価と今後の方向性）¹」

【昨年度からの変更点】

昨年度の効果検証においては、国の地方創生関連交付金（地方創生推進交付金及び地方創生拠点整備交付金）を中心に県事業80事業を評価対象としたが、委員から「評価対象事業が多岐にわたり、かつ単位が細かく表面的な評価しかできていない」との意見をいただいたことから、評価対象を再編するもの。

戦略の基本目標	戦略の基本施策【主な取組】
1 ひと 3 施策(12 事業)	(1) 一人ひとりの希望をかなえる 【結婚・出産・子育て支援、女性活躍等】 (2) 健やかな暮らしを支える【健康長寿】、 (3) 地域を担う創造性豊かな人を育てる【教育】
2 しごと 3 施策(41 事業) ※対象事業が多数のため一部分割	(4) 活力ある地域産業を支え、育てる① 【成長産業の集積（医療、再エネ・水素、航空宇宙等】 (5) 活力ある地域産業を支え、育てる②【地域産業の振興】 (6) 魅力ある農林水産業を展開する【農林水産業】 (7) 若者の定着・還流につなげる【若者の就職支援等】
3 暮らし 3 施策(9 事業)	(8) 安全で安心な暮らしをつくる【地域のデジタル変革等】 (9) ゆとりと潤いのある暮らしをつくる 【まちなか活性化、スポーツ】 (10) 環境に優しい暮らしをつくる【地球温暖化】
4 人の流れ 2 施策(27 事業)	(11) 地域の多様な魅力を発信する【観光の振興、情報発信】、 (12) ふくしまへ新しい人の流れをつくる【移住・定住】

¹ 昨年度までの効果検証資料に相当する資料。

(3) 書面による評価

各委員より以下の①、②によりご意見をいただたく。

① 評価調書に対するご意見

評価調書下段の「主な課題と今後の方向性」欄に対する御意見をいただいた。

- ・ 各施策ごとの課題分析は適切か。
- ・ 成果目標・K P I を達成・向上していく上で、足りない視点や効果が薄いと思われる取組はないか。
- ・ 今後の方向性について、事業をさらに深化させる上で必要な視点に抜け漏れはないか。

※ 1テーマ当たり2名の委員にコメントをいただく
(委員一人当たりの評価いただくテーマ数は2～3)

② 個別のK P I や個別事業を含めた全般的なご意見

個別事業のK P I は、以下により定量的に県内部で自己評価している。

K P I の達成状況による評価 (定量的な自己評価)	
K P I の達成状況	評価
100%以上	A
70%以上～100%未満	B
0%以上～70%未満	C
事業開始時点より悪化	D

(4) 会議における評価

- ・ 今後、成果目標を達成していくため、総合的な観点からどのような取組（施策レベル）を展開すべきか。
 - ★K P I 達成・向上に向けて十分な対応となっているか。
 - ★事業を深化させるために必要な手法はとられているか。
- などについて意見をいただく。

3 その他

2により有識者の意見を取りまとめ、県ホームページにより公表する。また、地方創生関連交付金に係るとりまとめ結果については、内閣府へ報告する。

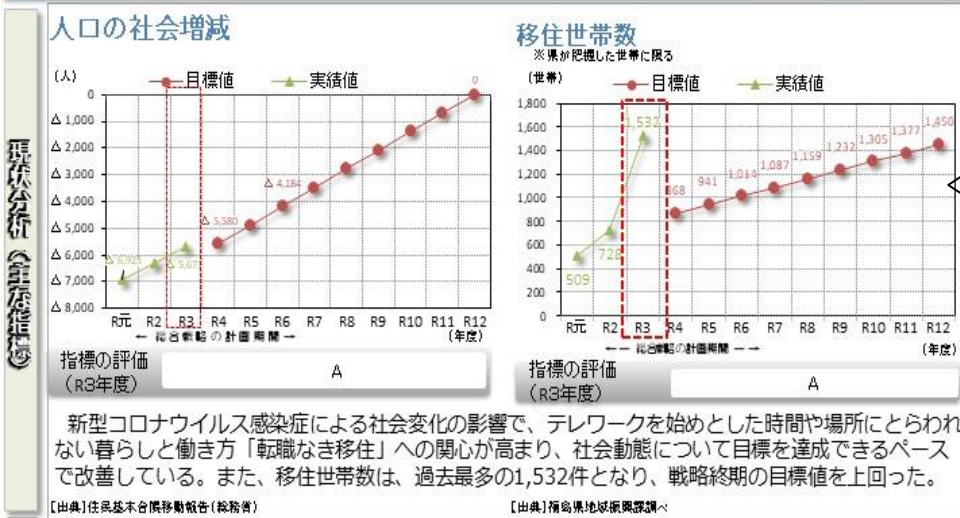
基本目標4 人の流れ

2 ふくしまへ新しい人の流れをつくる

(1) 地域の内外をつなぐキーパーソンを発掘・育成する
 (2) 希望の暮らし方をふくしまで見つけられるよう多面的に支援する
 (3) 本県と関わりのある人（関係人口）との交流促進、交流人口の拡大を図る
 (4) 避難解除地域等に新たな活力を呼び込む

【ひと分野】
 政策5 福島への新しい人の流れづくり

総合戦略の基本施策ごとに作成。



資料 1-3 より、代表的な成果指標・KPIの現在値・目標値を記載しています

福島に住んで。交流・移住推進事業

地域振興課

- 移住者の受入体制を強化
- 市町村等が行う受入環境整備の取組を支援

移住コーディネーターの活動件数	R1	R2	R3
	3,326	3,115	4,058

パラレルキャリア人材共創促進事業

地域振興課

都市部の副業（複業）人材のスキルやノウハウを活用し、事業者や地域の課題を解決。

令和3年度実績
 課題解決プロジェクト数 116件
 マッチング数 延べ99人

来てふくしま体験住宅促進事業

土木部

福島体験の際の滞在住宅として、県営住宅の空き住戸を一定期間提供

令和3年度実績
 県営住宅の使用許可数 20件
 本事業による移住世帯数 2世帯

テレワークタウンしらかわ推進事業

県南地方振興局

専用サイトやゴルフ場との連携による発信などにより、首都圏のテレワーカー等を呼び込み

令和3年度実績
 テレワーク補助金利用状況 26件
 管内コワーキングスペースの整備箇所数 10箇所

資料 1-4 より、令和3年度の代表的な取組状況を記載。

主な課題と今後における方向性

課題

- 地方への移住の意識が高まっているなか本県が移住先として選ばれるため、**他地域との差別化を図る必要がある。**
- 移住を漠然と考えている相談者が増えており、**移住後の地域とのミスマッチを防ぐ取組が必要。**

方向性

- 都市部等からの副(複)業マッチングなど関係人口施策により、**福島とつながるきっかけを創出**するとともに、テレワーカーの呼び込みなどによる「**転職なき移住**」の促進などにより新たな移住者の獲得を目指す。
- 全庁的に連携しながら、多様なルートでの相談対応や丁寧なフォローアップ**により、希望者の意向に合わせ、活用できる移住・定住関連施策に適切に紹介し、確実な移住・定住につなげていく。

【有識者評価のポイント】

- 各施策ごとの課題分析は適切か
- 成果目標・KPIを達成・向上していく上で足りない視点や効果が薄いと思われる取組はないか
- 今後の方向性について、事業をさらに深化させる上で付け加える視点はないか